

## 2・16 ZENKO 国際オンラインパネル基調

昨年から今年にかけて、世界情勢は大きく動いています。欧米では、イギリス、フランス、ドイツ、カナダなどで政権交代、政権崩壊の動きが相次ぎ、米国ではトランプが2度目の政権に就き、国際法を無視した不当な政策を連発しています。東アジアでも、日本の自公政権が少数与党へと転落し、韓国では尹大統領が非常戒厳発布から逮捕されるなど、全世界でグローバル資本主義国の体制危機が進行し、各地で極右勢力が台頭しています。

危機乗り越え策としてグローバル資本が戦争へと突き進む中、東アジアでも猛烈な勢いで軍事化が加速しています。中国脅威論があおられ、「第一列島線」と呼ばれる、朝鮮半島から、日本列島、沖縄・琉球弧、台湾からフィリピンに至る地域で、新基地建設、ミサイル配備、弾薬庫の新設等の戦争準備が進められています。

インド洋からハワイ沖に至る「自由で開かれたインド太平洋」防衛の名の下、大規模な合同軍事演習が日常化し、「台湾有事」「朝鮮有事」への介入を想定し進められる軍事演習には、日米韓に加え、フィリピン、オーストラリア、英国、フランス、カナダまでが参加しています。アジア版 NATO とも言える軍事連携の拡大です。石破首相はトランプ大統領との共同声明で、中国封じ込めを狙う一層の同盟強化と軍事増強を宣言しました。軍事同盟強化と大軍拡は、平和への道ではなく、戦争の危機を一層高めるものです。

しかし、軍事的対立が激化する一方で、市民の力による平和のための国際連帯が広がっています。特に、パレスチナの人々の不屈の抵抗と、世界中で広がったパレスチナ連帯 BDS 運動の成果として、ついにガザ停戦を実現しました。私たちは、トランプによる民族浄化、ガザ所有提案を許さず、引き続き日本政府及びイスラエル協力企業への抗議要請行動の強化で、この停戦を不当占領の終結からパレスチナ国家の建設へとつなげていかなければなりません。同時に、この停戦実現の歴史的な成果は、国境を超えた市民の力が戦争を止める可能性を示しています。

本集会には、パレスチナ人民闘争戦線 (PPSF) からの連帯メッセージが届けられています。そして、米国、韓国、台湾、沖縄からのパネリストが、それぞれの地域の情勢について報告し、戦争を止めるための国際連帯の必要性を訴られます。国内では、全国各地で軍事化に抗する反基地運動のネットワーク作りが進んでいます。ZENKO/ZHAP は、この国内連帯の動きを東アジア全体へと広げ、日米韓台の市民がつながる国際連帯ネットワーク作りを目指します。

本集会を機に、東アジアから戦争を止めるための新たな取り組みとして、「ZHAP 第3次国際賛同署名」を提起します。市民による国際連帯の力で、東アジアから戦争を阻止し、対話と外交による平和の実現を目指しましょう。本集会がそのキャンペーンの出発点となるよう、参加された皆さまのご協力を訴えて、基調とさせていただきます。

### 行動提起

1. 日米韓台比の市民の国際連帯で東アジアから戦争を止める ZHAP 第3次国際賛同署名キャンペーンを国内外で拡大しよう！
2. 2・22 戦争止めよう！沖縄・西日本ネットワーク結成鹿児島集会に参加しよう！
3. 2・19 イスラエル協力企業抗議要請首都圏行動へ参加し、パレスチナ占領を続けるイスラエルへの圧力を強めよう！
4. 2・24 パレスチナ・ウクライナの即時停戦シンポジウム (@連合会館) に参加しよう！
5. 3・22-23 第6回東アジアの平和のための ZENKO 参加団 in 広島に参加しよう！
6. 2025 ZENKO in 相模原 (7/26-27) を成功させよう！

2025年2月16日